

[戻る](#)

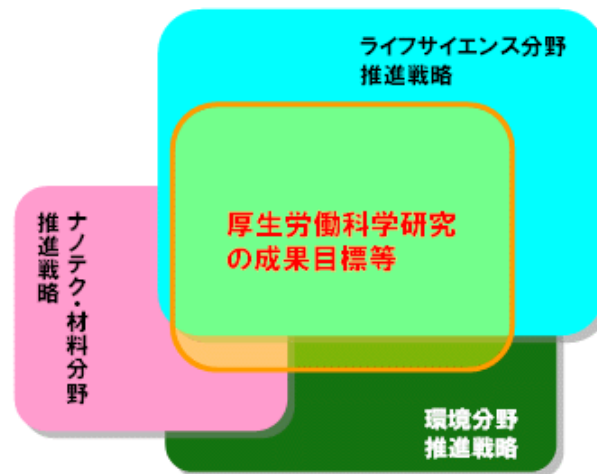
第 3 0 回科学技術部会	資料 1
平成 1 8 年 4 月 1 9 日	

－第3期科学技術基本計画－
分野別推進戦略の概要について

厚生労働省
大臣官房厚生科学課
平成18年4月19日

厚生労働科学研究の成果目標等と内閣府の分野別推進戦略について

- ・ 厚生労働省は厚生労働科学研究の成果目標等（平成18年2月1日部会審議）を内閣府に提出。
- ・ 政府は第3期科学技術基本計画を平成18年3月28日に閣議決定。
- ・ また、内閣府は分野別推進戦略を検討し、平成18年3月22日 第53回総合科学技術会議本会議において決定。



「分野別推進戦略」とは

第3期科学技術基本計画の中で、科学技術の戦略的重点化を図るとされた「政策課題対応型研究開発」を8分野に分類し、各分野毎の課題等をまとめたもの。



基礎研究

自由な発想に基づく基礎研究については、多様性を確保しつつ、一定の資源を確保して着実に推進



政策課題対応型研究開発 〔選択と集中の一層の徹底〕

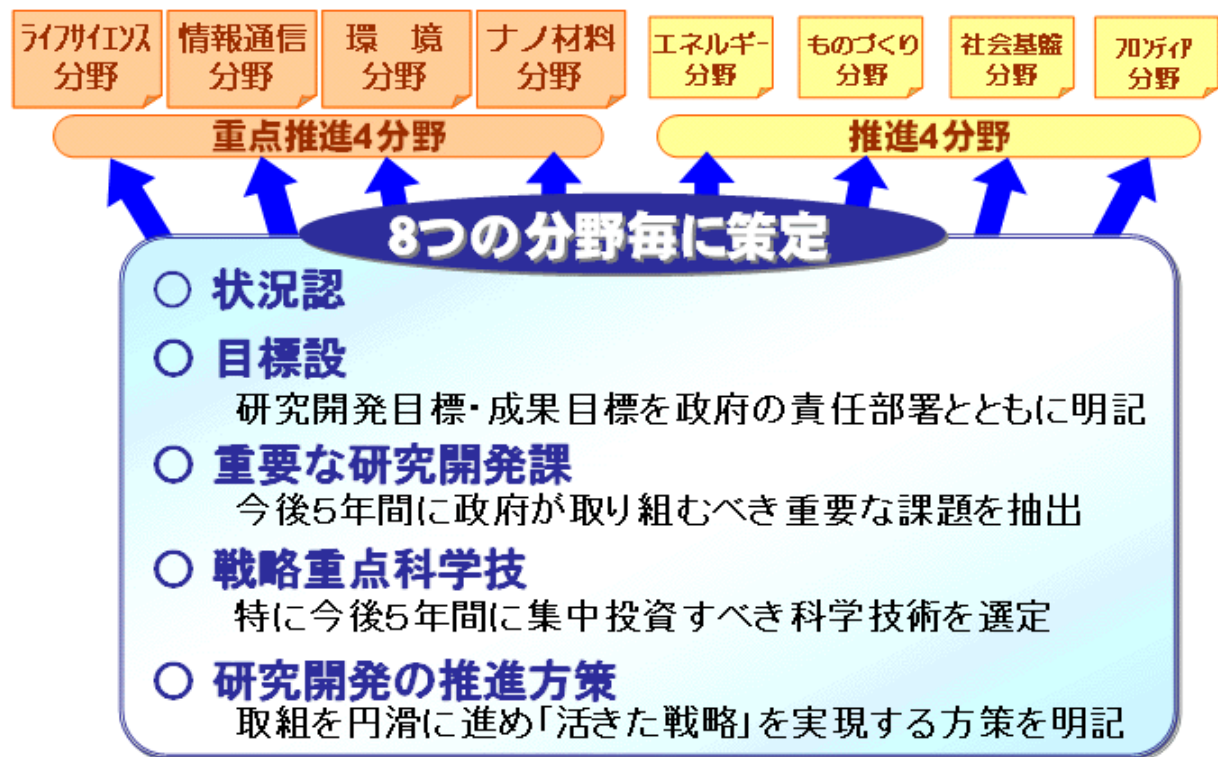
重点推進4分野

- 1 (ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料)
及び 推進4分野
(エネルギー、ものづくり技術、社会基盤、フロンティア)

2 分野内の重点投資

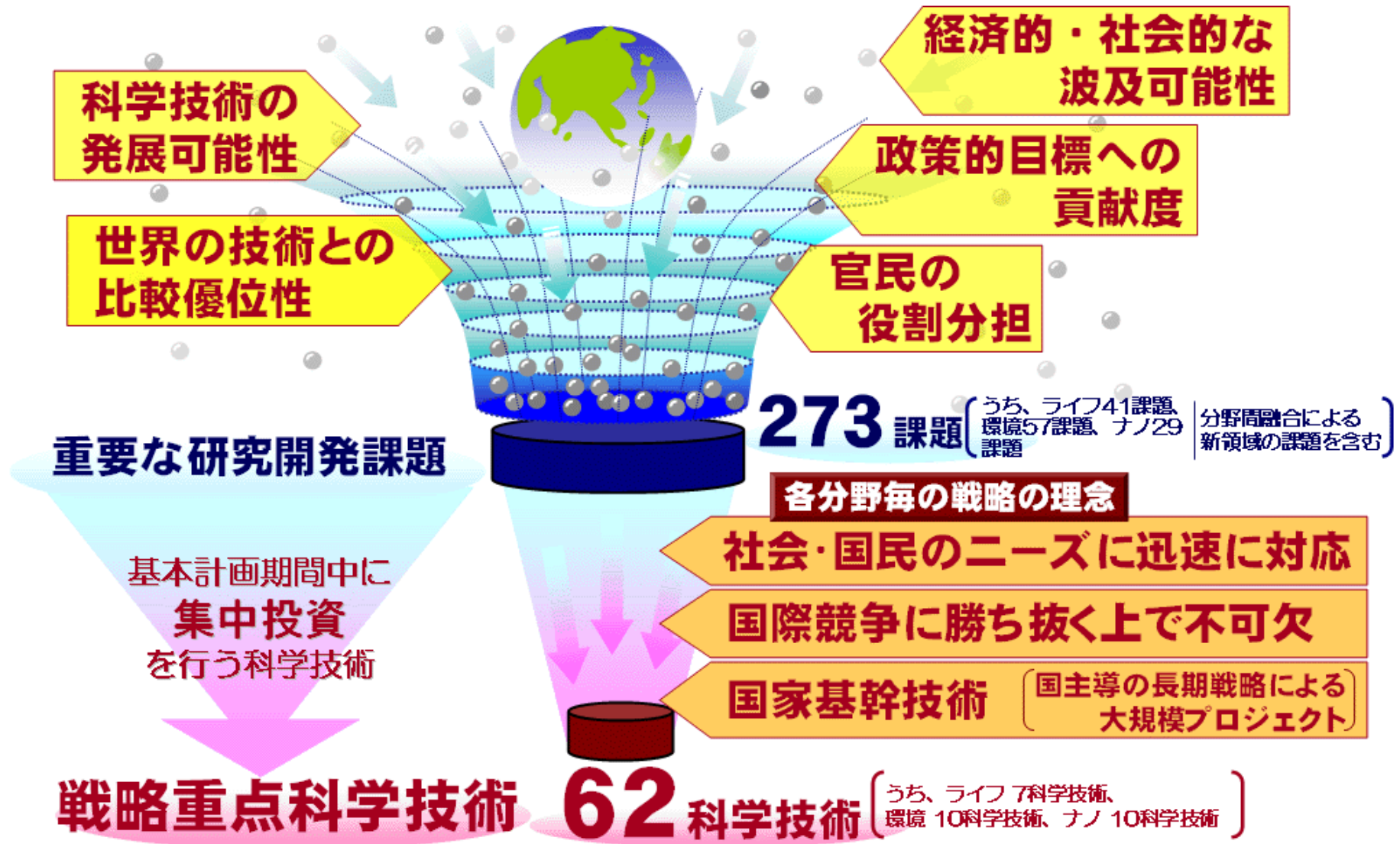
→ 分野別推進戦略

分野別推進戦略の内容



平成18年3月22日 第53回総合科学技術会議本会議 資料より改変

選択と集中の考え方



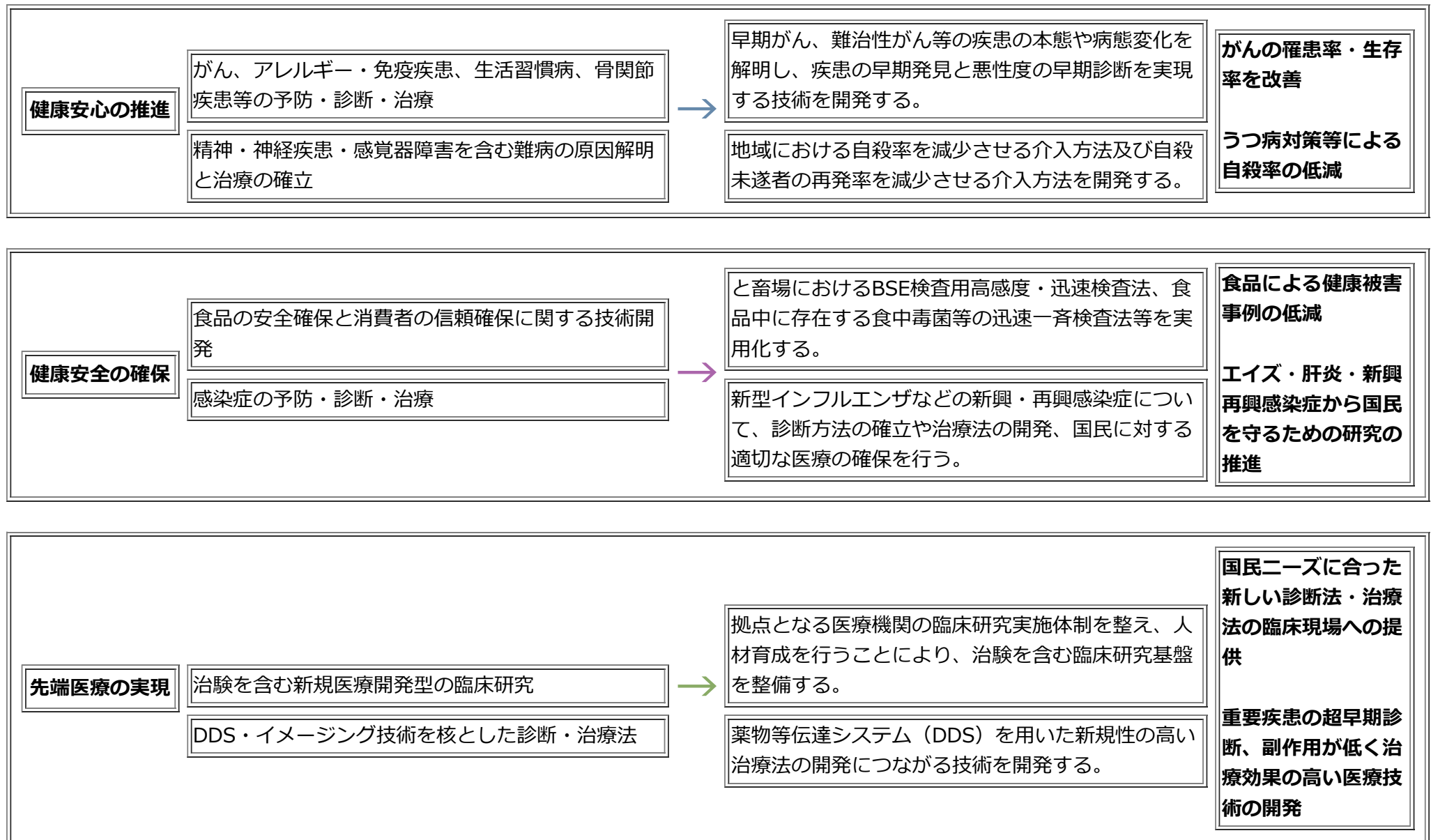
平成18年3月22日 第53回総合科学技術会議本会議 資料より改変

厚生労働省の主要な成果目標等について

重要な研究開発課題の例

研究開発目標の例

成果目標の例



戦略重点科学技術について

◆ 重要な研究開発課題の中から「戦略重点科学技術」（基本計画期間中において集中投資の必要がある研究開発）を絞り込み。（選択と集中）

ライフサイエンス分野の例

- (1)臨床研究・臨床への橋渡し研究
- (2)標的治療等の革新的がん医療技術
- (3)新興・再興感染症克服科学技術
- (4)国際競争力を向上させる安全な食料の生産・供給科学技術 など

環境分野の例

- (1)新規の物質への対応と国際貢献により世界を先導する化学物質のリスク評価管理技術
- (2)人文社会科学的アプローチにより化学物質リスク管理を社会に的確に普及する科学技術 など

ナノテク・材料分野の例

- (1)超早期診断と低侵襲治療の実現と一体化を目指す先端的小ナノバイオ・医療技術 など

研究開発の推進方策について

◆ 分野に特有の人材育成、産学官連携強化、成果の社会還元を支える制度的な環境整備など、今後取組を強化すべき方策を示す。

ライフサイエンス分野の例

- (1)臨床研究推進のための体制整備
 - (1)支援体制等の整備・増強
 - (2)臨床研究者・臨床研究支援人材の確保と育成
 - (3)研究推進や承認審査のための環境整備
 - (4)国民の参画
- (2)安全の確保のためのライフサイエンスの推進
- (3)成果に関する国民理解の促進

環境分野の例

活きた戦略を実現する府省連携体制

など

ナノテク・材料分野の例

国の関与の必要性和官民の役割分担

(4)医療におけるITの活用
(5)医理工連携等の促進 など

など

厚生労働省の今後の取組

- ◆ 第3期（H18～H22）の科学技術投資の戦略的重点化を**毎年度の資源配分に着実に反映**
- ◆ 推進方策に示された課題につき、対応方策を検討
- ◆ 臨床研究を重視し、取組を推進
- ◆ 技術動向・社会情勢の変化を見つつ**柔軟に対応**

[トップへ](#)

[戻る](#)